

第17回総合計画策定幹事会 会議概要		
日 時	平成21年8月4日(月) 午前9時00分～午前11時00分	
会 場	庁議室	
出席者	大崎幹事長、加藤幹事、山本幹事、進藤幹事、小嶋幹事、入江幹事、浅見幹事、筒井幹事、今井幹事、前田幹事、木村幹事、守岡幹事、鈴木幹事、岨中幹事、小西幹事、利倉幹事	

[議事]

1. パブリックコメントの実施結果について

事務局から説明

《意見等》

- ・資料1-1の1ページの市の対応の中に、「行財政マネジメントとして施策に含めていく」とあるが、これは追加するという意味か。内容がわかりにくい。

2. リーディングプロジェクトについて

事務局から説明

《意見等》

- ・このように、全ての施策を横断して出ているが、幾つかの施策をピックアップして出すのではないか。今後、具体的に事業化し、予算化して基本構想の4つの柱立てで括って、これまでのように市民に発表していくのか。また、リーディングプロジェクトとして、括り直しアピールするのか。もし、リーディングプロジェクトで括り直すとなると、横断的になり各施策が重複、再掲となり、非常にわかりにくくなるのではないか。

→例えば、草津川跡地について、それぞれ「元気とうるおい」で出していく方法もありましたが、議会からは、分野で区切ると施策横断が見えない、それならば施策横断は行政施策でやっていくのではないかと多くの意見があり、これが10年で引っ張っていくのは12のアップ策になるのか、もしくは、「将来・現役・熟成世代」が1つになって4つの施策になるのかは、これから議論しますが、そこに出た事務事業は、当然、リーディング事業として基本計画の中にもしっかりと明記し、リーディングはリーディングで基本計画の中にも示していきたいと考えています。当然、重複しますが、4つの柱にそれぞれ分野ごとのリーディングプロジェクトやロードマップ事業、指標事業があったりとする形で整理していきます。その前では、リーディングプロジ

ェクトで、どのように10年引っ張っていくのかということを示していきたい。

- ・特に力を入れていくと言いながら、全ての分野が入っているのではないか。例えば、教育委員会では、去年から「子供が唱える教育のまち」というフレーズを使っているが、ここでは新たに「子供が伸びやかに育つまち」と書いている。その調整も出来ていないのではないか。
- ・このリーディングプロジェクトにある事業は、細かいものや大括りのものまで入っており、レベルが統一されていない。施策や事業が混同している。検討して整理すべき。

→それは合わしてない。出来るだけヒアリング等の意見を入れたので、合わしきれていない。それぞれのプロジェクトの意見を出来るだけ反映しようと思うと、細かい視点もあれば、大きい視点もあるので。

このリーディングプロジェクトは、今回初めて作りますから、どのレベルまでを入れるのかは検討課題です。ただ、このリーディング事業の綺麗なイメージ、事務事業がイメージしてもらいやすいような形で整理をした。

- ・環境問題が何も載っていないが良いのか。インパクトが何もない。
上下水道は何もないのか。まちの元気アップの中の、産業の元気アップ策に入るだろうし、市民のうるおいアップの中の、エコによるうるおいアップ策にも入るだろうし、まちの資源活用によるうるおいアップ策も入ると思う。

- ・7ページの「ビジターズ・ビューロくさつの設置」とあるが、これは何か。

→滋賀県が設置しているのですが、例えば、映画の撮影の協力であったり、テレビ等に草津を使ってもらい、映画やフェスタの開催などで草津を使ったり、もっとアピールしていこうということの窓口を設置することです。

組織は県レベルだが、彦根市や近江八幡市は、既に様々な分野で時代劇などに使っている。パンフレットに、この映画のここで撮影がありますと載っており、観光で利用している。

- ・幼児教育が市民の元気アップ策の中で、「子育て支援センター」の今あるものの拡充しかない。それだけではないはずだが、草津は子育て支援が必要な市であることは確かだ。その辺りの施策の提案が感じられない。もっと、事務事業単位でここに入れる必要があるのではないか。
- ・基本計画が第1期は3年、今回のリーディングプロジェクトが10年を見越したものであるならば、その関係性はどうなるのか。10日までに意見を出すようにとの指示があるが、どのように具体的に書いたら良いのか。

- ・個別事業でリーディング事業をあげるのか、事務事業であげるのかどちらか。新規事業であれば事務事業や個別事業になっても良いが、今までの事務事業ならば、その事務事業の中に括られているのではないか。これは議論が必要ではないか。

→個別の事業を最初に出して、まとめられるものは整理するという事です。

- ・基本計画の中にある事業が基礎になって、その内のいくつかがリーディング事業に載ってくるのではないのか。

→基本計画にある事業が全てではない。新しい取り組みも出てくる。

- ・これは個々の事業が載るべきではない。方向性としては、もっと大きい括りにするべ

きである。例えば、「学力向上プログラムによる確かな学力の育成」の中には、電子黒板、や教育環境や特別教育の充実もあるのではないかな。

- ここは幹事会ですので、幹事会の委員としての意見は、自分の主観だけではなくて全体を見ながら書くことになるので、各課のリーディングにあげるべきものか、ここの今の案に挙げてもらったら困るとか、他の事業に挙げていけないといけない事業があるなどは、再度事務局の方で照会があるのかな。

- まず、この提案の仕方で良いかどうかを決めないといけないのではないかな。それを聞かないと、その事務事業は分からない。それを確定してから、事務事業に何があるかをやらなければ、整理している段階で無くなると無駄な作業になってしまう。

4つの方向性を引っ張っていくのがリーディング事業、この事業をすることによって、その下に事業が一杯あり、それを引っ張っていくもの。そういう意味で言えば、小さい事業で良いのではないかな。施策単位で、基本計画相当でなくても具体的表現だけでも良い。ただ、それが単発で終わるようなものでなく、それをやるならば、あれもこれもないといけないという事業を探すべきではないかな。今、幹事の意見を整理してはどうか。

- 基本構想の4つの柱が、リーディングプロジェクトでは2つの括りになっているが、これで良いのかを確認したい。

→この2つは、基本構想の都市ビジョンからきている。だから、4つの柱も含めて考えている。だから、横断的になっている。

- その説明であれば、4つの方向性も引っ張っていくのだということであれば理解できる。横軸の部分で引っ張っていくことである。

→以前から、縦割りだという意見がありましたので、1つのところに入れたものを、次のところに入れたら、結局同じになる。例えば、人権に入れたものが男女共同参画に同じように事業に出ると、わかりにくくなる。それならば、リーディングで大きなオーダーで見たほうが説明しやすい。

- その見せ方は大事だが、本来のリーディングプロジェクトのイメージは、重点的なこれをやればというものを、網羅したのもではなく、いくつかピックアップしたものでないのかな。だから、全部に渡って事業をあげなくても良いのではないかな。

例えば、市民センターがまちづくりの拠点ならば、それによって協働の拠点作りが出来て、それに引っ張られて展開していく。そのように広がっていくのがリーディング事業であって、単なる協働のまちづくりの施策をリーディングプロジェクトであげても、見えてこないのではないかな。基本計画に書いてある基本構想の中身を持ってきただけになる。もっと、単純なものではないかな。

→1つの事業をすることによって、他にも派生していく可能性はある。単に1本だけなら単なる主要プロジェクトに終わってしまう。

- 形としてはこれで良いと思います。後は、何を事業として出していくかであろう。

4つの柱の下に方策があるが、そこに3から5ぐらいの事業があれば良いのではないかな。

- 少し多いかなという気もするが、形としてはこれで良いと思います。事業としては、大きい柱的な事業を入れた方が良いと思う。「子ども」というキーワードは、このように個別事業をあげていくと、そこに特化することになるので、この目的を持ってリ

ーディング事業に出すようにしたほうが良い。

- 方策名、目標と方針までは特に意見はない。やはり、リーディング事業とは何を望んでいるのが難しい。8ページには上下水道だけがないと言っていましたが、それも問題ですが、そうなるそれぞれの市民の元気アップについての◎のところからなったのではないか。それぞれ1つずつ関連する課があがってくるのか、個々にあげてきたものを集約や重点的なものにするという議論をするべきである。
- 形はこれで良いだろう。このリーディングプロジェクトの目的を、もっと事務局が説明すべき。そして、これを議論してほしいと言うべきである。
- 事務局から新たに第5次総合計画でリーディングプロジェクトを採用すると言ったならば、こういう形でやりますということをきっちりと説明しておくべきである。
キャッチフレーズに「出会いが織りなす……」とあるので、「元気」と「うるおい」が良いと思う。その中でも、4つの柱の中に、2、3点の事業をあげれば良い。例えば、「市民の元気アップ」でも、教育というようなとらえ方をすれば、就学前もあれば就学時、また生涯学習もあるので、いくつかの横の繋がりから3年間どういものを作り上げていくのかが見えてくるであろう。
- 方策名、中長期の目標と方針のところは、どのような方向にリードしていくのかということをはっきりさせるために、この程度は示す方が良いと思う。リーディング事業の中身については、これだけ時間かけて、大体の理解はされたので、幹事の責任でリード出来る事業を絞り込んでいけば良い。調整をしていく中で方策名の枠組み等を変更せざるを得ないようであれば、変更すれば良いだろう。

以 上